

Jヴィレッジ

——— 復活までの軌跡 ———



J-VILLAGE



Jヴィレッジ ―― 復活までの軌跡 ――

目次

002 完成写真：第1期 Jヴィレッジ

004 Jヴィレッジに寄せて | 1

011 **STAGE 1** 構想・企画

- 012 ■ 構想案
- 014 ■ 日本サッカー協会・東京電力の基本姿勢
- 015 ■ 地域振興の枠組み
- 020 ■ 完成予想図
- 021 ■ 全体工程

035 **STAGE 2** 着工・竣工

- 036 ■ 工事計画概要
- 042 ■ 設計図
- 050 ■ 第1期 Jヴィレッジ竣工

075 **STAGE 3** グランドオープンから大震災まで（1997～2011）

- 076 ■ 第1期 Jヴィレッジ グランドオープン
- 080 ■ 第1期 Jヴィレッジの軌跡
- 092 ■ 震災直後のJヴィレッジ

098 Jヴィレッジに寄せて | 2

103 **STAGE 4** 復旧前線基地としてのJヴィレッジ

- 104 ■ 被災状況／前線基地として果たした役割
- 107 ■ Jヴィレッジの配置機能

131 **STAGE 5** 復旧工事の軌跡

- 132 ■ 新生Jヴィレッジの目標／使命
- 134 ■ 目標達成のための5つのチャレンジ
- 138 ■ 2016～18年の工事記録

153 **STAGE 6** 新生 Jヴィレッジ

- 154 ■ 新生 Jヴィレッジ竣工
- 186 ■ イベントレポート
- 190 ■ 再始動への期待
- 192 ■ これからのJヴィレッジ像

199 **STAGE 7** 関連資料

- 200 ■ 日本建築学会／日本芝草学会
- 216 ■ 建築・設備概要

218 Jヴィレッジに寄せて | 3

222 完成写真：新生Jヴィレッジ

檜葉エリアには11面のサッカーピッチを配置するため、広大で平坦なスペースが必要とされたが、現状の地形・標高差を活かして造成面積ができるだけ少なくなるように計画された。

広野エリアのスタジアムは、起伏のある地形を活かしてすり鉢型のスタンドを配置、地上に立ち上がる建築の部分を少なくし、圧迫感や人工的な印象を極力排除し、自然の中に溶け込むスタジアムを目指した。

